

大山 あきひこ ニュース

大阪府議会議員



公明党

2019年秋号



発行: 大山明彦府政事務所 〒581-0003 八尾市本町4-4-9-202
TEL 072-999-4649 FAX 072-999-8739 E-mail: ooyama@komei-fu.com

大阪府議会9月定例会 (9月26日~12月20日)

健康福祉常任委員会報告(要旨)

認知症になっても希望を持って 安心して暮らせる社会づくりを進めよ!

認知症高齢者数は府の推計によると、2020年には40万8千人、その後ピークとなる2035年には56万2千人へ増加するとされている。大山府議は、認知症対策は待った無しで、認知症になっても希望を持って安心して暮らせる社会づくりを進めるための対策の充実を図ることが重要と、今回の委員会では、次の点を強く訴え、前に進めた。



- 正確な診断、適切な治療や身体合併症などの医療体制の充実
- 認知症を原因とした行方不明者の見守りや早期発見の体制づくり
- 「徘徊」(目的も無くうろうろ歩きまわる)の表現は、誤解や偏見を招くことのないよう、本人・家族に寄り添うよう配慮すること。
- 「成年後見制度」の利用促進を図ること。

障がい者の通勤や職場における 府独自の支援制度を創設へ!

障がい者の方は、仕事が見つかりにくく、就労できても、付き添いヘルパーなどの支援制度は無い。国制度が実施されるまでの間、府独自の制度を実施すべき。今後、対象者の調査・把握、制度設計にあたっては早い段階から当事者の意見を直接聞くこと。さらに、障がいの種類や程度に関わらず利用できる制度とすることなど、きめ細かく制度設計しなければ、真にニーズに応えられる制度とはならないため、十分な検討を行うこと。と提案した。

難病患者・慢性疾患患者等の 災害時の医薬品供給体制を万全に! あわせて「かかりつけ薬局」の推進を図ること!

近年の相次ぐ災害をはじめ、南海トラフ巨大地震が想定されるなか、災害時に難病患者・慢性疾患患者をはじめ、患者さんの命をつなぐ医薬品の提供体制を万全にしておかなければならない。避難しても医薬品を携帯できなかった場合、処方箋がない場合など、あらゆる状況を想定して、それでも普段の提供体制が維持できるようにすることが必要と大山府議は訴えた。府は、薬剤師会や関係機関と連携し、備蓄や供給体制の万全を期すこと、大規模災害時には通知をもって、お薬手帳でも医薬品を受け取れる体制をさらに強化するとした。

おおさか健活マイレージ「アスマイル」。利用者拡大で府民の健康づくりを推進!

大山府議がこれまで推進してきた、府民の健康をサポートするアプリの「アスマイル」は、健康活動を記録することで健康管理だけでなく、ポイントが貯まって電子マネーが当たるなど、うれしい機能が付いている。

10月28日の本格実施に向けて、大山府議は、モデル実施での経過を踏まえ、システムの全面リニューアルを行い、次の点の改善を提案した。

- ①「もっと楽しく、もっと使いやすく」をテーマに、簡単な操作で登録、活用ができ、楽しい機能を拡充する。
- ②高齢者、若者をはじめ、幅広い年齢層にアプローチする。
- ③市町村、民間企業ともさらに連携し、特典の充実を図る。

こういった取り組みが、着実に府民の「健康寿命の延伸」につながるよう、データの有効な活用や取り組みの強化を行っていくよう訴えた。

